

第 289 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和元年 11 月 22 日

株式会社エフエム石川

第 289 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日 令和元年 10 月 9 日
2. 開催場所 エフエム石川本社
3. 委員の出席
 総委員数 7 名
 出席委員数 7 名

出席委員の氏名（50 音順）

委員長 ： 柳澤良一

副委員長： 清水克弥

委 員 ： 大場 司、工藤彩子、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

放送事業者側出席者氏名

代表取締役社長 平田 信也

放送部長 安地 昭博

4. 議題

業務概要の報告

番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

【業務概要の報告】

事業報告としては、イベントでは9月14日にJA金沢市ほがらか村野田店で中華料理の料理人陳健一さんを迎えたトークイベントを開催し、100名を超える主婦や子供が参加したことが報告されました。また9月15日に「金沢競馬競馬体験会」をに開催しリスナー50名が参加したこと。9月18日に赤十字血液センター特別試写会「HELLO WORLD」上映会を行い76名が参加したこと。9月28日に「JF いしかわ presents HELLO FIVE 出来る男のおさかな料理教室」を金沢勤労者プラザで開催し15名が参加したこと。そして9月29日に金沢市の片町きらら4周年イベントとして「Kanazawa ROCK THE RIOT」を開催し北陸で活動する10組のバンドが演奏を行ったことが伝えられました。

【番組の試聴と質疑・意見交換】

【試聴番組】

番組タイトル： ほくりくアイドル部 放課後ホリデイ muspop RADIO ♪

放送日時： 9月21日(土) 18:00 - 18:30

提 供： アンサー・エンタテインメント、チャンピオンカレー

出 演： ほくりくアイドル部

松井祐香里

有松来未

【番組内容】

「ほくりくアイドル部」は北陸を拠点に活動する地域アイドルグループ。「北陸を"音楽"で元気に！」をキャッチコピーに2016年に活動を開始し地域の催し物でパフォーマンスを披露したり、プロスポーツチームの公式マスコットガールを務めるなど地域を盛り上げる活躍は目覚ましい。

番組ではメンバーが週替わりでパーソナリティを担当し、より多くのリスナーにグループのメンバーや曲を知ってもらいながら、ほくりくアイドル部が関わる地域の活動も広める内容で放送している。エフエム石川の自社制作番組。

■工藤委員

30分間という番組の時間を有効に使っていないように感じました。出演者はラーメンやペットの話をした後に、ラーメンやペットのイベントがあることを紹介していましたが、ラジオは「ながら聞き」のメディアであるため最後にイベントのお知らせをしても耳に残りません。冒頭にラーメンやペットのイベントがあることをしっかり伝えてから、ラーメンやペットの話をした方が良くと

思いました。また、イベントのお知らせ、コーナーや楽曲の紹介など、番組の内容をきちんと口に出して説明していないため、全体の印象として若い女の子がだらだら話しているだけになっていると思いました。更にペットの話では、若い女の子のテンションが上がるためか、笑い声が大きくなって内輪ネタのように感じられ、ファミレスで隣の席の人の話を聞いているような気分になりました。ファンに向けてではなく、一般のリスナーが楽しめる番組作りをして欲しいです。また、バスケットの練習風景についてはせっかく取材に行っているのに、どんなことをしているのかを具体的に説明した方が良かったです。一方で、チアダンスを習っている子供達に感想を聞く場面では年代が近いということもあり上手でした。チアダンスの先生の話は面白かったのもっと長く放送した方が良かったと思いました。

■大場委員

全体的な印象としては若い女の子がしゃべっているだけで集中して聞けませんでした。地域のアイドルなので方言はあっても良いですが、イントネーションがおかしく何を言っているかわからない場面があり非常に聞きづらかったです。また番組の構成がとても気になりました。コーナーの境目がよく分かりませんでした。イベント告知、チアダンスのリポートなど、コーナーが終わったことがわからないまま、次の話になっていて、ファンじゃないリスナーにはついていけないように感じました。チアダンスについてはいかに良いのかの説明がなく残念でした。取材に行った子ども達の声は良かったのですが、いまひとつ魅力が伝わってきませんでした。

■宮川委員

イベント紹介のコーナーでは、最後まで聞かないと話の意図が分かりませんでした。特に動物の鳴き声クイズは面白くありませんでした。私はこのアイドルグループを知らなかったのですが、こうした人たちを番組で取り上げることは良いことだと思います。もっと良い感じでほくりくアイドル部を宣伝できたら良かったと思います。ラーメン博の紹介では、ラーメンの歴史を語ったり、ラーメン屋の思いを伝えたり、ラーメン博に行きたくなるような構成にしてほしかったです。一方で、チアガールの話は番組の中では一番良かったです。お子さんの声が聞こえると、ついラジオに耳を傾けてしまいました。ほくりくアイドル部はしゃべりをもっと勉強したら良いと思います。自分たちの曲が出来る過程の話などもあれば良かったです。

■久保委員

この番組は土曜夕方6時からの番組ということで元気な点は良かったです。番組タイトルの **muspop** は造語ということですが、こうしたよくわからない言葉は良くないと思います。最も気になるのはしゃべり方です。方言を使うこと自体は悪くないと思いましたが、時々わからない言葉が出てきました。全体的に早口でせわしない印象を受けました。また、インタビューが伝わりにくくなってしまったため、インタビュー中の **BGM** は不要だと思いました。一方で、地元アイドルの番組であれば、例えば石川動物園の動物でクイズを出すなど、地域色が出るようにこだわった方が良いのではないのでしょうか。ほくりくアイドル部のファンだけが聴くのであれば良いですが、公共の放送で幅広いリスナーに聴いてもらうことを考えればきつい部分もありました。ほくりくアイドル部任せにせず、アナウンサーが番組を進行した方が良いのではないのでしょうか。工夫次第で楽しい番組になると思いますので今後に期待したいです。

■平木委員

番組前半は10代の女の子2人が賑やかにしゃべっているだけで、内容が伝わってきませんでした。ラーメンや動物について2人でげらげら笑うばかりで、若い女性の賑やかなトークをそのまま放送するのは「放送」としてはどうかと思いました。また、コーナーの最後にイベント紹介をする展開は分かりづらかったので、聴く側にやさしい配慮をし最初にイベントを紹介してからコーナーに入ってほしいです。番組後半でチアダンスの練習を紹介した部分で、小学生にインタビューした時にはお姉さんぶりを発揮して適切な質問や自分なりの感想を言っていて良かったです。17才の女性が色んな面を持っていることが感じられました。もう少し指導を入れながら話をすると良いのではないのでしょうか。

■清水副委員長

家族にも聞かせてみたところ娘は大丈夫でしたが、私と息子が聞くには厳しい番組でした。特に最初の動物の鳴き声クイズはいただけませんでした。個性を出すことは必要だと思いますが、出演者に放送番組とはどういうものかということをきちんと伝え番組に臨むようにしてほしいです。一週間の出来事を話題にした方がクイズをするよりも良かったのではないのでしょうか。また、リスナー参加型にしてメールなどの紹介をすると良いと思います。

■柳澤委員

出演者の喋り方が最も気になりました。標準語を話そうとしているのですが、イントネーションや方言が混じるのは良くありません。特に他県から来

た人が聴くと「～け？」という言葉はぞんざいに聞こえます。方言にするならば徹底的にした方が良いでしょうが、中途半端なため聞きづらかったです。また、インタビューの BGM が大きすぎて聞きづらかったです。地元のアイドルを地域の放送局として後押しすることは大変良い企画だと思いますので、もっと聞いてもらう工夫をして欲しいです。

全体の意見としては、番組の前半と後半の出来に大きな差があったという意見が多かったように思います。

[審議会の答申、または改善意見に対してとった措置]

制作者に内容を伝達

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第 289 回番組審議会の議事概要の公表

令和元年 10 月 26 日(土) 19:55 ～ 20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインターネット・ホームページへの掲載